

第2節 周辺地域地質調査

(1) 三瓶山北麓のボーリング調査

1.はじめに

服部ほか(1983)では、三瓶山北麓を広く北の原溶岩が被っている。しかし、この地域では露頭がほとんどないこともあり、追従の方法が無かった。

そこで、北の原溶岩の分布確認を目的として「国引きの丘」、「アワ畑」の2地点においてボーリング調査を実施した(図4.2.1-1に、ボーリング地点を、図4.2.1-2、3にボーリング柱状図を示す)。

2.結果

ボーリングの結果、表層部では北の原溶岩は確認されず、「立石岩屑なだれ堆積物」で被われていることが明らかになった。また、

「アワ畑」で実施したボーリングは、「3節三瓶埋没林共同調査」の沢田ほかでSMUとして記載されており、「立石岩屑なだれ堆積物」の給源を推定する貴重な資料の一つとなった。

3.引用文献

服部 仁・鹿野 和彦・鈴木 隆介・横山 勝三・松浦 浩久・佐藤 博之 (1983) 三瓶山地域の地質。地域地質研究報告 (5万分の一図幅), 地質調査所, 168p



図4.2.1-1 ボーリング地点

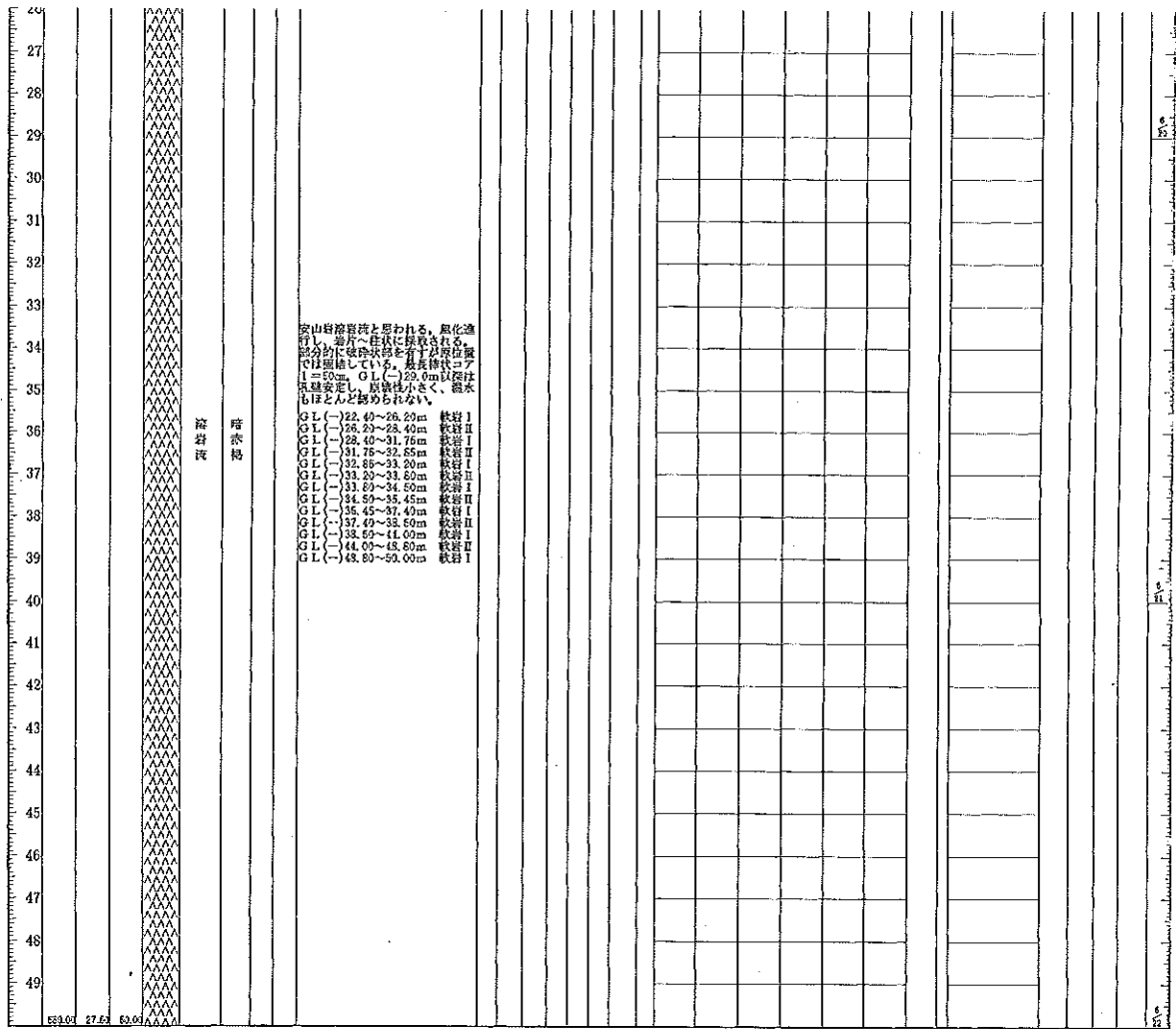


図4.2.1-3 アワ畑ボーリング柱状図 (2)

